

大学番号 **私立168**

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

愛知産業大学 造形学部 スマートデザイン学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人愛知産業大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 ガクチョウシツチョウ 学長室長・キムラ 木村 ヒデユキ 秀幸

電話番号 0564-48-4511（代表）

（夜間） 090-6091-1720

e-mail kimura@asu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

造形学部

＜スマートデザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23
UD委員会規程	

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人愛知産業大学

(2) 大学名

愛知産業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒444-0005

愛知県岡崎市岡町原山12-5

〔〒460-0016

名古屋市中区橘2-6-15〕

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コバヤシ エイゾウ) 小林 英三 (平成28年10月1日)		
学長	(ホリコシ テツミ) 堀越 哲美 (平成26年4月1日)		
学部長	(イシカワ キヨシ) 石川 清 (平成22年4月1日)	(アライ ユウジ) 新井 勇治 (令和2年4月1日)	任期満了に伴う選出 令和2年4月1日就任 (2)
学科長等	(ウイ アキヒロ) 宇井 朗浩 (平成31年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
造形学部 スマートデザイン学科 学士(芸術)	美術関係	4年	70人	5年次人	290人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70 (-) [若干名]		70 (-) [若干名]		70 5 [若干名]		() []		() []		1.01倍	一倍	令和3年度の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、における留学生数は3年次編入生1名含む
志願者数	263 (-) [28]	- (-) [-]	257 (-) [16]	- (-) [-]	99 (4) [17]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
受験者数	250 (-) [25]	- (-) [-]	245 (-) [15]	- (-) [-]	97 (4) [16]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
合格者数	118 (-) [10]	- (-) [-]	172 (-) [9]	- (-) [-]	97 (4) [16]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	86 (-) [7]	- (-) [-]	88 (-) [7]	- (-) [-]	41 (4) [9]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.22		1.25		0.58								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	86 [7] (-)	- [-] (-)	88 [7] (-)	- [-] (-)	41 [8] (-)	- [-] (-)					令和3年度に3年次編入学生4名入学
2年次	/		80 [7] (-)	- [-] (-)	85 [6] (-)	- [-] (-)					
3年次	/		/		83 [8] (-)	- [-] (-)					
4年次	/		/		/						
計	86 [7] (-)		168 [14] (-)		209 [22] (-)						

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	86人	6人	令和元年度	6人	0人	除籍1人、学力不足1人、就職2人、他の教育機関へ進学2人
令和2年度	168人	4人	令和元年度	1人	0人	就学意欲の低下1人
			令和2年度	3人	1人	他の教育機関へ進学1人、就職1人、[他の教育機関への進学1人]
令和3年度	209人	0人	令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		10人		10人	1人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{86} = \boxed{6.97} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{168} = \boxed{2.38} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{209} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
企画演習	プレゼンテーション演習	2前	2			2	1					
	プランニング演習	2後	2				2					
企画演習	マーケティング演習	2前	2				3					
	造形デザイン基礎	2前		2				1				
専門デザイン基礎	メディアデザイン基礎	2前		2		1	1					
	共生デザイン基礎	2前		2			1	1				
専門デザイン基礎	AIデザイン基礎	2後		2			1	1				
	システムデザイン基礎	2後		2		2						
専門知識	キャラクターデザイン学	3前		2		1						
	こころのデザイン学	3後		2			2					
専門知識	コミュニケーション学	3前		2		2						
	デザインマネジメント論	3後		2			1					
専門デザイン手法	デジタルプロトタイピング論	3前		2		1						
	スマート空間論	3後		2				1				
専門デザイン手法	オープンノベーション論	3前		2			1					
	映像視覚表現論	3後		2		1						
専門デザイン手法	ロボットデザイン論	4前		2			1	1				
	ユーザーインターフェイス論	4前		2			1	1				
専門デザイン手法	スマートモビリティ論	4前		2		1	1					
	知能プロダクトプロトタイピングI	3前		4		1		1				
デザイン演習	知能プロダクトプロトタイピングII	3後		4		1		1				
	カルチャーメディアプロトタイピングI	3前		4		1		1				
デザイン演習	カルチャーメディアプロトタイピングII	3後		4		1		1				
	人間機械コミュニケーションプロトタイピングI	3前		4		1	1	1				
デザイン演習	人間機械コミュニケーションプロトタイピングII	3後		4		1	1	1				
	テラーメードサービスプロトタイピングI	3前		4			1	1				
デザイン演習	テラーメードサービスプロトタイピングII	3後		4			1	1				
	エンターテイメントプロトタイピングI	3前		4		1	1					
デザイン演習	エンターテイメントプロトタイピングII	3後		4		1	1					
	マーケットプロトタイピングI	3前		4			2					
デザイン演習	マーケットプロトタイピングII	3後		4			2					
	AI研究専門ゼミナールI	4前		2		1						
ゼミナール	AI研究専門ゼミナールII	4後		2		1						
	ICT研究専門ゼミナールI	4前		2		1						
ゼミナール	ICT研究専門ゼミナールII	4後		2		1						
	デザインビジネス研究専門ゼミナールI	4前		2			1					
ゼミナール	デザインビジネス研究専門ゼミナールII	4後		2			1					
	メディア研究専門ゼミナールI	4前		2		1						
ゼミナール	メディア研究専門ゼミナールII	4後		2			1					
	卒業研究I	4前		4		4	1	2				
卒業研究	卒業研究II	4後		4		4	1	2				
	小計(53科目)	-	22	128	0	41	44	28	0	0	0	0
合計(101科目)			-	30	214	0	52	46	30	0	0	44
卒業要件及び履修方法												
教養科目36単位以上、共通専門科目と専門科目を併せて88単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限: 40単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
企画演習	プレゼンテーション演習	2前	2			2	1					
	プランニング演習	2後	2				1	1				
企画演習	マーケティング演習	2前	2				1	2				
	造形デザイン基礎	2前		2					1			2
専門デザイン基礎	メディアデザイン基礎	2前		2				2				
	共生デザイン基礎	2前		2				1	1			
専門デザイン基礎	AIデザイン基礎	2後		2			1	1		1		
	システムデザイン基礎	2後		2		2						
専門知識	キャラクターデザイン学	3前		2				2				
	こころのデザイン学	3後		2				1	1			
専門知識	コミュニケーション学	3前		2		2						
	デザインマネジメント論	3後		2				1				
専門デザイン手法	デジタルプロトタイピング論	3前		2		1						
	スマート空間論	3後		2				1	1			
専門デザイン手法	オープンノベーション論	3前		2			1					
	映像視覚表現論	3後		2		1						
専門デザイン手法	ロボットデザイン論	4前		2				1	1			
	ユーザーインターフェイス論	4前		2				1	1			
専門デザイン手法	スマートモビリティ論	4前		2		1	1					
	知能プロダクトプロトタイピングI	3前		4		1		1				
デザイン演習	知能プロダクトプロトタイピングII	3後		4		1		1				
	カルチャーメディアプロトタイピングI	3前		4			2		1			
デザイン演習	カルチャーメディアプロトタイピングII	3後		4			2		1			
	人間機械コミュニケーションプロトタイピングI	3前		4		1	1	1				
デザイン演習	人間機械コミュニケーションプロトタイピングII	3後		4		1	1	1				
	テラーメードサービスプロトタイピングI	3前		4				1	1			
デザイン演習	テラーメードサービスプロトタイピングII	3後		4				1	1			
	エンターテイメントプロトタイピングI	3前		4		1	1					
デザイン演習	エンターテイメントプロトタイピングII	3後		4		1	1					
	マーケットプロトタイピングI	3前		4				2				
デザイン演習	マーケットプロトタイピングII	3後		4				2				
	AI研究専門ゼミナールI	4前		2		1						
ゼミナール	AI研究専門ゼミナールII	4後		2		1						
	ICT研究専門ゼミナールI	4前		2		1						
ゼミナール	ICT研究専門ゼミナールII	4後		2		1						
	デザインビジネス研究専門ゼミナールI	4前		2				1				
ゼミナール	デザインビジネス研究専門ゼミナールII	4後		2				1				
	メディア研究専門ゼミナールI	4前		2				1				
ゼミナール	メディア研究専門ゼミナールII	4後		2				1				
	卒業研究I	4前		4		4	1	2				
卒業研究	卒業研究II	4後		4		4	1	2				
	小計(53科目)	-	22	128	0	50	39	28	0	0	0	2
合計(101科目)			-	30	214	0	71	39	31	0	0	58
卒業要件及び履修方法												
教養科目36単位以上、共通専門科目と専門科目を併せて88単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限: 40単位(年間))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	スタディスキル	1前	2			2						
	キャリアデザインⅠ	3前	2			1					1	
	キャリアデザインⅡ	3後	2			1					1	
	情報リテラシー	1前	2								1	
	プレゼンテーションツール	1後	2								1	
	デジタルデザイン表現	2前	2								1	
	哲学	1後	2								1	
	倫理学	3前	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	経済学	2後	2								1	
	法学（日本国憲法）	2前	2								1	
	社会学	2後	2								1	
	日本の歴史	2後	2								1	
	現代文化論	3後	2								1	
	数学と社会	1前	2								1	
	統計学	1後	2								1	
	地球環境と社会	3前	2								1	
	文章表現基本	1前	2								1	
	文章表現応用	1後	2								1	
	日本語中級	1前・後	2								2	
	日本語上級	1前・後	2								1	
	現代日本の文化研究	1前	2								1	
	英語コミュニケーションA	1前	2			1					1	
	英語コミュニケーションB	1後	2			1					1	
	英語コミュニケーションC	2前	2			1					1	
	中国語A	3前	2								1	
中国語B	3後	2								1		
フランス語	2後	2								1		
健康・運動の科学	2前	2								1		
スポーツA	1前	1								2		
スポーツB	1後	1								3		
小計（31科目）	—	—	8	52	0	7	0	0	0	0	34	
共通基礎科目	世界の美術	1後	2								1	
	アート表現演習	2後	2								1	
	色彩学	2前	2								1	
	人間工学と感性	2後	2			1						
	コミュニケーションスケッチ	1前	2			1						
	インターンシップ	3前	2			1					1	
	地域クリエイション基礎	1前	2			1					2	
	三河のまちづくりと観光	1後	2					1			2	
	福祉社会のクリエイション	2前	2					1			1	
	地域クリエイションワーク	3前	2								1	
	産業クリエイション基礎	1前	2			1					2	
	三河のものづくり	1後	2								2	
	日本の産業	2前	2								1	
未来産業ワーク	3前	2								1		
マーケティングと広告	1後	2			1					1		
都市と移動手段のデザイン	2前	2			1					1		
市場創成ワーク	3前	2					1					
小計（17科目）	—	—	0	34	0	7	0	2	0	0	18	
専門科目	暮らしのスマートデザインⅠ	1前	4			1	1	1				
	暮らしのスマートデザインⅡ	1後	4			1	1	1				
	作るスマートデザインⅠ	1前	4				1	1				
	作るスマートデザインⅡ	1後	4				1	1				
	表すスマートデザインⅠ	1前	4			2	1	1				
	表すスマートデザインⅡ	1後	4			2	1	1				
	わかりあうスマートデザインⅠ	1前	4			1		2				
	わかりあうスマートデザインⅡ	1後	4			1		2				
	人間中心デザインⅠ	2前	2			1	1					
	人間中心デザインⅡ	2後	2			1	1					
データマイニングⅠ	2前	2				2						
データマイニングⅡ	2後	2				2						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	スタディスキル	1前	2			2						
	キャリアデザインⅠ	3前	2			1					1	
	キャリアデザインⅡ	3後	2			1					1	
	情報リテラシー	1前	2								2	
	プレゼンテーションツール	1後	2								1	
	デジタルデザイン表現	2前	2						1			
	哲学	1後	2								1	
	倫理学	3前	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	経済学	2後	2								1	
	法学（日本国憲法）	2前	2								1	
	社会学	2後	2								1	
	日本の歴史	2後	2								1	
	現代文化論	3後	2								1	
	数学と社会	1前	2								1	
	統計学	1後	2								1	
	地球環境と社会	3前	2								1	
	文章表現基本	1前	2								1	
	文章表現応用	1後	2								1	
	日本語中級	1前・後	2								2	
	日本語上級	1前・後	2								1	
	現代日本の文化研究	1前	2								1	
	英語コミュニケーションA	1前	2			1					1	
	英語コミュニケーションB	1後	2			1					1	
	英語コミュニケーションC	2前	2			1					2	
	中国語A	3前	2								1	
中国語B	3後	2								1		
フランス語	2後	2								1		
健康・運動の科学	2前	2								1		
スポーツA	1前	1								2		
スポーツB	1後	1								3		
小計（31科目）	—	—	8	52	0	7	0	1	0	0	35	
共通基礎科目	世界の美術	1後	2								1	
	アート表現演習	2後	2								3	
	色彩学	2前	2					1			1	
	人間工学と感性	2後	2								1	
	コミュニケーションスケッチ	1前	2					1				
	インターンシップ	3前	2					1			1	
	地域クリエイション基礎	1前	2					1			2	
	三河のまちづくりと観光	1後	2								2	
	福祉社会のクリエイション	2前	2						1		1	
	地域クリエイションワーク	3前	2								1	
	産業クリエイション基礎	1前	2						1		2	
	三河のものづくり	1後	2								2	
	日本の産業	2前	2								2	
未来産業ワーク	3前	2								1		
マーケティングと広告	1後	2			1					1		
都市と移動手段のデザイン	2前	2			1					1		
市場創成ワーク	3前	2						1				
小計（17科目）	—	—	0	34	0	7	0	2	0	0	22	
専門科目	暮らしのスマートデザインⅠ	1前	4			1	1	1				
	暮らしのスマートデザインⅡ	1後	4			1	1	1				
	作るスマートデザインⅠ	1前	4				1	1				
	作るスマートデザインⅡ	1後	4				1	1				
	表すスマートデザインⅠ	1前	4			2	1	1				
	表すスマートデザインⅡ	1後	4			2	1	1				
	わかりあうスマートデザインⅠ	1前	4			1		2				
	わかりあうスマートデザインⅡ	1後	4			1		2				
	人間中心デザインⅠ	2前	2			1	1					
	人間中心デザインⅡ	2後	2			1	1					
データマイニングⅠ	2前	2				2		1	1			
データマイニングⅡ	2後	2				2		1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
企画演習	プレゼンテーション演習	2前	2			2	1					
	プランニング演習	2後	2				2					
専門デザイン基礎	マーケティング演習	2前	2				3					
	造形デザイン基礎	2前		2				1				
専門デザイン基礎	メディアデザイン基礎	2前		2		1	1					
	共生デザイン基礎	2前		2			1	1				
専門知識	AIデザイン基礎	2後		2			1	1				
	システムデザイン基礎	2後		2			2					
専門知識	キャラクターデザイン学	3前		2		1						
	こころのデザイン学	3後		2			2					
専門デザイン手法	コミュニケーション学	3前		2		2						
	デザインマネジメント論	3後		2			1					
デザイン演習	デジタルプロトタイプング論	3前		2		1						
	スマート空間論	3後		2				1				
ゼミナール	オープンイノベーション論	3前		2			1					
	映像視覚表現論	3後		2		1						
卒業研究	ロボットデザイン論	4前		2			1	1				
	ユーザーインターフェイス論	4前		2			1	1				
卒業研究	スマートモビリティ論	4前		2		1	1					
	知能プロダクトプロトタイプングⅠ	3前		4		1		1				
卒業研究	知能プロダクトプロトタイプングⅡ	3後		4		1		1				
	カルチャーメディアプロトタイプングⅠ	3前		4		1		1				
卒業研究	カルチャーメディアプロトタイプングⅡ	3後		4		1		1				
	人間機械コミュニケーションプロトタイプングⅠ	3前		4		1	1	1				
卒業研究	人間機械コミュニケーションプロトタイプングⅡ	3後		4		1	1	1				
	テラーメイドサービスプロトタイプングⅠ	3前		4			1	1				
卒業研究	テラーメイドサービスプロトタイプングⅡ	3後		4			1	1				
	エンターテイメントプロトタイプングⅠ	3前		4		1	1					
卒業研究	エンターテイメントプロトタイプングⅡ	3後		4		1	1					
	マーケットプロトタイプングⅠ	3前		4			2					
卒業研究	マーケットプロトタイプングⅡ	3後		4			2					
	AI研究専門ゼミナールⅠ	4前		2		1						
卒業研究	AI研究専門ゼミナールⅡ	4後		2		1						
	ICT研究専門ゼミナールⅠ	4前		2		1						
卒業研究	ICT研究専門ゼミナールⅡ	4後		2		1						
	デザインビジネス研究専門ゼミナールⅠ	4前		2			1					
卒業研究	デザインビジネス研究専門ゼミナールⅡ	4後		2			1					
	メディア研究専門ゼミナールⅠ	4前		2		1						
卒業研究	メディア研究専門ゼミナールⅡ	4後		2		1						
	卒業研究Ⅰ	4前	4			4	1	2				
卒業研究	卒業研究Ⅱ	4後	4			4	1	2				
	小計(53科目)	-	22	128	0	41	44	28	0	0	0	
合計(101科目)			-	30	214	0	55	44	30	0	0	52
卒業要件及び履修方法												
教養科目36単位以上、共通専門科目と専門科目を併せて88単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
企画演習	プレゼンテーション演習	2前	2			2	1					
	プランニング演習	2後	2				1	1				
専門デザイン基礎	マーケティング演習	2前	2				1	2				
	造形デザイン基礎	2前		2					1			2
専門デザイン基礎	メディアデザイン基礎	2前		2				2				
	共生デザイン基礎	2前		2				1	1			
専門知識	AIデザイン基礎	2後		2			1		1			
	システムデザイン基礎	2後		2			1	1				
専門知識	キャラクターデザイン学	3前		2			1					
	こころのデザイン学	3後		2				2				
専門デザイン手法	コミュニケーション学	3前		2		2						
	デザインマネジメント論	3後		2			1					
デザイン演習	デジタルプロトタイプング論	3前		2		1						
	スマート空間論	3後		2					1			
ゼミナール	オープンイノベーション論	3前		2			1					
	映像視覚表現論	3後		2		1						
卒業研究	ロボットデザイン論	4前		2			1	1				
	ユーザーインターフェイス論	4前		2			1	1				
卒業研究	スマートモビリティ論	4前		2		1	1					
	知能プロダクトプロトタイプングⅠ	3前		4		1		1				
卒業研究	知能プロダクトプロトタイプングⅡ	3後		4		1		1				
	カルチャーメディアプロトタイプングⅠ	3前		4		1		1				
卒業研究	カルチャーメディアプロトタイプングⅡ	3後		4		1		1				
	人間機械コミュニケーションプロトタイプングⅠ	3前		4		1	1	1				
卒業研究	人間機械コミュニケーションプロトタイプングⅡ	3後		4		1	1	1				
	テラーメイドサービスプロトタイプングⅠ	3前		4			1	1				
卒業研究	テラーメイドサービスプロトタイプングⅡ	3後		4			1	1				
	エンターテイメントプロトタイプングⅠ	3前		4		1	1					
卒業研究	エンターテイメントプロトタイプングⅡ	3後		4		1	1					
	マーケットプロトタイプングⅠ	3前		4			2					
卒業研究	マーケットプロトタイプングⅡ	3後		4			2					
	AI研究専門ゼミナールⅠ	4前		2		1						
卒業研究	AI研究専門ゼミナールⅡ	4後		2		1						
	ICT研究専門ゼミナールⅠ	4前		2		1						
卒業研究	ICT研究専門ゼミナールⅡ	4後		2		1						
	デザインビジネス研究専門ゼミナールⅠ	4前		2			1					
卒業研究	デザインビジネス研究専門ゼミナールⅡ	4後		2			1					
	メディア研究専門ゼミナールⅠ	4前		2		1						
卒業研究	メディア研究専門ゼミナールⅡ	4後		2		1						
	卒業研究Ⅰ	4前	4			4	1	2				
卒業研究	卒業研究Ⅱ	4後	4			4	1	2				
	小計(53科目)	-	22	128	0	46	39	28	0	0	2	
合計(101科目)			-	30	214	0	60	39	31	0	0	59
卒業要件及び履修方法												
教養科目36単位以上、共通専門科目と専門科目を併せて88単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位(年間))												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養科目	スタディスキル	1前									
	キャリアデザインⅠ	3前									
	キャリアデザインⅡ	3後									
	情報リテラシー	1前									
	プレゼンテーションツール	1後									
	デジタルデザイン表現	2前									
	哲学	1後									
	倫理学	3前									
	心理学	1前									
	経済学	2後									
	法学（日本国憲法）	2前									
	社会学	2後									
	日本の歴史	2後									
	現代文化論	3後									
	数学と社会	1前									
	統計学	1後									
	地球環境と社会	3前									
	文章表現基本	1前									
	文章表現応用	1後									
	日本語中級	1前・後									
	日本語上級	1前・後									
	現代日本の文化研究	1前									
	英語コミュニケーションA	1前									
	英語コミュニケーションB	1後									
	英語コミュニケーションC	2前									
	中国語A	3前									
	中国語B	3後									
	フランス語	2後									
	健康・運動の科学	2前									
	スポーツA	1前									
	スポーツB	1後									
小計（31科目）	—										
共通科目	共通基礎科目	世界の美術	1後								
		アート表現演習	2後								
		色彩学	2前								
		人間工学と感性	2後								
	地域クリエイション	コミュニケーションスケッチ	1前								
		インターンシップ	3前								
		地域クリエイション基礎	1前								
	産業クリエイション	三河のまちづくりと観光	1後								
		福祉社会のクリエイション	2前								
		地域クリエイションワーク	3前								
	マーケティング	産業クリエイション基礎	1前								
三河のものづくり		1後									
日本の産業		2前									
未来産業ワーク		3前									
市場創成	マーケティングと広告	1後									
	都市と移動手段のデザイン	2前									
	市場創成ワーク	3前									
小計（17科目）	—										
専門科目	スマートデザイン基礎	暮らしのスマートデザインⅠ	1前								
		暮らしのスマートデザインⅡ	1後								
		作るスマートデザインⅠ	1前								
		作るスマートデザインⅡ	1後								
		表すスマートデザインⅠ	1前								
		表すスマートデザインⅡ	1後								
		わかりあうスマートデザインⅠ	1前								
		わかりあうスマートデザインⅡ	1後								
	デザイン手法基礎	人間中心デザインⅠ	2前								
		人間中心デザインⅡ	2後								
		データマイニングⅠ	2前								
		データマイニングⅡ	2後								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
企画演習	プレゼンテーション演習	2前									
	プランニング演習	2後									
専門デザイン基礎	マーケティング演習	2前									
	造形デザイン基礎	2前									
専門デザイン基礎	メディアデザイン基礎	2前									
	共生デザイン基礎	2前									
専門知識	AIデザイン基礎	2後									
	システムデザイン基礎	2後									
専門デザイン手法	キャラクターデザイン学	3前									
	こころのデザイン学	3後									
専門デザイン手法	コミュニケーション学	3前									
	デザインマネジメント論	3後									
デザイン演習	デジタルプロトタイプング論	3前									
	スマート空間論	3後									
デザイン演習	オープンイノベーション論	3前									
	映像視覚表現論	3後									
デザイン演習	ロボットデザイン論	4前									
	ユーザーインターフェイス論	4前									
デザイン演習	スマートモビリティ論	4前									
	知能プロダクトプロトタイプングⅠ	3前									
デザイン演習	知能プロダクトプロトタイプングⅡ	3後									
	カルチャーメディアプロトタイプングⅠ	3前									
デザイン演習	カルチャーメディアプロトタイプングⅡ	3後									
	人間関係コミュニケーションプロトタイプングⅠ	3前									
デザイン演習	人間関係コミュニケーションプロトタイプングⅡ	3後									
	テラーメイドサービスプロトタイプングⅠ	3前									
デザイン演習	テラーメイドサービスプロトタイプングⅡ	3後									
	エンターテインメントプロトタイプングⅠ	3前									
デザイン演習	エンターテインメントプロトタイプングⅡ	3後									
	マーケットプロトタイプングⅠ	3前									
デザイン演習	マーケットプロトタイプングⅡ	3後									
	AI研究専門ゼミナールⅠ	4前									
ゼミナール	AI研究専門ゼミナールⅡ	4後									
	ICT研究専門ゼミナールⅠ	4前									
ゼミナール	ICT研究専門ゼミナールⅡ	4後									
	デザインビジネス研究専門ゼミナールⅠ	4前									
ゼミナール	デザインビジネス研究専門ゼミナールⅡ	4後									
	メディア研究専門ゼミナールⅠ	4前									
卒業研究	メディア研究専門ゼミナールⅡ	4後									
	卒業研究Ⅰ	4前									
卒業研究	卒業研究Ⅱ	4後									
	小計(53科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(101科目)		-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法											
教養科目36単位以上、共通専門科目と専門科目を併せて88単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:40単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

担当教員昇任により「スタディスキル」の専任教員等の配置「教授1・准教授1」から「教授2」に変更
 教育課程充実のため「日本語中級」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 教育課程充実のため「スポーツA」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 教育課程充実のため「スポーツB」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼3」に変更
 担当科目調整により「地域クリエイション基礎」の兼任・兼任「兼1」から専任教員等の配置「教授1」、兼任・兼任「兼2」に変更
 担当科目調整により「三河のまちづくりと観光」の兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 担当科目調整により「産業クリエイション基礎」の専任教員等の配置「准教授1」、兼任・兼任「兼1」から「教授1」、「兼2」に変更
 担当科目調整により「三河のものづくり」の兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更

【令和2年度】

教育課程充実のため「情報リテラシー」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 担当科目調整により「デジタルデザイン表現」の兼任・兼任「兼1」から専任教員等の配置「講師1」に変更
 教育課程充実のため「英語コミュニケーションC」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 担当科目調整により「アート表現演習」の兼任・兼任「兼1」から「兼3」に変更
 教育課程充実のため「色彩学」の担当者追加、専任教員等の配置「教授1」を追加
 担当科目調整により「人間工学と感性」の専任教員等の配置「教授1」から兼任・兼任「兼1」に変更
 教育課程充実のため「日本の産業」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 担当教員昇任により「データマイニングI」の専任教員等の配置「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更
 担当教員昇任により「データマイニングII」の専任教員等の配置「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更
 担当教員昇任により「プランニング演習」の専任教員等の配置「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更
 担当教員昇任により「マーケティング演習」の専任教員等の配置「准教授3」から「教授1・准教授2」に変更
 教育課程充実のため「造形デザイン基礎」の担当者追加、兼任・兼任「兼2」を追加
 担当科目調整により「メディアデザイン基礎」の専任教員等の配置「教授1・准教授1」から「准教授2」に変更
 担当教員昇任により「AIデザイン基礎」の専任教員等の配置「准教授1・講師1」から「教授1・講師1」に変更
 担当教員昇任により「システムデザイン基礎」の専任教員等の配置「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更

【令和3年度】

教育課程充実のため「キャリアデザインII」の担当者追加、専任教員等の配置「教授1」から「教授2」に変更
 教育課程充実のため「プレゼンテーションツール」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼3」に変更
 担当科目調整により「世界の美術」の兼任・兼任「兼1」から専任教員等の配置「教授1」に変更
 担当科目調整により「アート表現演習」の兼任・兼任「兼3」から専任教員等の配置「教授1」、兼任・兼任「兼2」に変更
 担当科目調整により「色彩学」の専任教員等の配置「教授1」、兼任・兼任「兼1」から「教授2」に変更
 教育課程充実のため「人間工学と感性」の担当者追加、専任教員等の配置「教授1」を追加
 担当科目調整により「インターンシップ」の専任教員等の配置「教授1」、兼任・兼任「兼1」から「教授2」に変更
 教育課程充実のため「地域クリエイションワーク」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」から「兼2」に変更
 担当科目調整により「三河のものづくり」の兼任・兼任「兼2」から専任教員等の配置「教授1」、兼任・兼任「兼1」に変更
 教育課程充実のため「市場創成ワーク」の担当者追加、兼任・兼任「兼1」を追加
 教育課程充実のため「キャラクターデザイン学」の専任教員等の配置「教授1」から「教授2」に変更
 担当科目調整により「こころのデザイン学」の専任教員等の配置「准教授2」から「教授1・准教授1」に変更
 教育課程充実のため「スマート空間論」の担当者追加、専任教員等の配置「准教授1」を追加
 教育課程充実のため「カルチャーメディアプロトタイプI」の担当者追加、専任教員等の配置「教授1・講師1」から「教授2・講師1」に変更
 教育課程充実のため「カルチャーメディアプロトタイプII」の担当者追加、専任教員等の配置「教授1・講師1」から「教授2・講師1」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	88 科目	0 科目	101 科目	13 科目 [0]	88 科目 [0]	0 科目 [0]	101 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{101} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知産業大学短期大学 との共用必要面積 11,200㎡			
	校舎敷地	0 ㎡	40,459 ㎡	0 ㎡	40,459 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	61,279 ㎡	0 ㎡	61,279 ㎡				
	小 計	0 ㎡	101,738 ㎡	0 ㎡	101,738 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	140,530 ㎡	0 ㎡	140,530 ㎡				
	合 計	0 ㎡	242,268 ㎡	0 ㎡	242,268 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知産業大学短期大学 との共用必要面積 10,164㎡			
		31,221.15 ㎡ (31,221.15 ㎡)	13,069.2 ㎡ (13,069.2 ㎡)	518.87 ㎡ (518.87 ㎡)	44,808.22 ㎡ (44,808.22 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 大学全体の利用目的見 直しのため(3)			
	36 30 室	12 14 7 室	32 33 20 室	6 4 室 (補助職員 0 人)	0 4 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体の利用目的見 直しのため(3)			
	造形学部 スマートデザイン学科		12 10 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定が不能な為、大学全体の 数 図書・視聴覚資料購入による増加および 学術雑誌の利用状況見直しによる減少 (3)	
	スマートデザイン ン学科	[] (94,600 [18,733]) (93,693 [18,690])	[] (448 [5]) (451 [5])	[] (0 [0])	2,102 2,092	(5)	(0)		
	計	[] (94,600 [18,733]) (93,693 [18,690])	[] (448 [5]) (451 [5])	[] (0 [0])	2,102 2,092	(5)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	2,018 ㎡	217		78,278					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	7,485.25 ㎡	テニスコート		アーチェリー場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費は大学全体 図書は、学部単位での 特定が不能な為、大学 全体の数
		教員1人当り研究費等	300 千円	300 千円	図書購入費	1,000 千円	1,000 千円	0 千円	
	共同研究費等	8,000 千円	8,000 千円	設備購入費	7,900 千円	5,000 千円	0 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,500 千円	1,300 千円	1,300 千円	1,300 千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		愛知産業大学					学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
造形学部	4	140	3年次10	580	学士(芸術)	1.11	0.92	—	平成4	愛知県岡崎市岡町原山12-5	
建築学科	4	70	3年次5	290	学士(芸術)	1.22	1.25	—	平成4	同上	
スマートデザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(芸術)	1.02	0.58	—	平成31	同上	令和元年度設置
デザイン学科	4	—	3年次5	220	学士(芸術)	0.94	—	—	平成16	同上	令和元年度学生募集停止
造形学研究科	2	20	—	40	修士	0.57	0.55	—	平成17	同上	
建築学専攻	2	10	—	20	修士(建築学)	0.50	0.60	—	平成17	同上	
デザイン学専攻	2	10	—	20	修士(デザイン学)	0.65	0.50	—	平成19	同上	
経営学部	4	120	3年次5	490	学士(経営学)	1.17	1.16	—	平成12	同上	
総合経営学科	4	120	3年次5	490	学士(経営学)	1.17	1.16	—	平成21	同上	
通信教育部	4	100	3年次200	800	学士(芸術)	0.41	0.59	—	平成8	同上	
造形学部建築学科	4	100	3年次200	800	学士(芸術)	0.41	0.59	—	平成18	同上	
大学全体	4	380	215	1910	—	0.84	0.78	—	—	—	
大学の名称		愛知産業大学短期大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
国際コミュニケーション学科	2	600	—	1200	短期大学士(文学)	0.44	0.45	—	平成18	愛知県岡崎市岡町原山12-5	
大学全体	2	600	—	1200	—	0.44	0.45	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<造形学部 スマートデザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	宇井 朗浩 (60) <平成31年4月> 教育学修士	宇井 朗浩 (60) <平成31年4月> 教育学修士	専	教授	宇井 朗浩 (61) <平成31年4月> 教育学修士	宇井 朗浩 (61) <平成31年4月> 教育学修士	専	教授	宇井 朗浩 (62) <平成31年4月> 教育学修士	宇井 朗浩 (62) <平成31年4月> 教育学修士				
		表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ プレゼンテーション演習 メディアデザイン基礎 コミュニケーション学 映像視覚表現論 エンターテインメントプロトタイプⅠ エンターテインメントプロトタイプⅡ メディア研究専門ゼミナールⅠ メディア研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ マーケティングと広告□				表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ プレゼンテーション演習 メディアデザイン基礎 コミュニケーション学 映像視覚表現論 エンターテインメントプロトタイプⅠ エンターテインメントプロトタイプⅡ メディア研究専門ゼミナールⅠ メディア研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ マーケティングと広告□				表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ プレゼンテーション演習 メディアデザイン基礎 コミュニケーション学 映像視覚表現論 エンターテインメントプロトタイプⅠ エンターテインメントプロトタイプⅡ メディア研究専門ゼミナールⅠ メディア研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ マーケティングと広告□					
専	教授	佐々木 尚孝 (66) <平成31年4月> 修士(認知科学)	佐々木 尚孝 (66) <平成31年4月> 修士(認知科学)	専	教授	佐々木 尚孝 (67) <平成31年4月> 修士(認知科学)	佐々木 尚孝 (67) <平成31年4月> 修士(認知科学)								
		表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ キャラクターデザイン学 カルチャーメディアプロトタイプⅠ カルチャーメディアプロトタイプⅡ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅠ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ キャラクターデザイン学 カルチャーメディアプロトタイプⅠ カルチャーメディアプロトタイプⅡ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅠ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ キャラクターデザイン学 カルチャーメディアプロトタイプⅠ カルチャーメディアプロトタイプⅡ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅠ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ					
								専	教授	杉山 康生子 (54) <令和3年4月> 博士(文学)	杉山 康生子 (54) <令和3年4月> 博士(文学)				
										表すスマートデザインⅠ 表すスマートデザインⅡ キャラクターデザイン学 カルチャーメディアプロトタイプⅠ カルチャーメディアプロトタイプⅡ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅠ 人間関係コミュニケーションプロトタイプⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ					
専	教授	諸江 哲男 (65) <平成31年4月> 文学修士	諸江 哲男 (65) <平成31年4月> 文学修士	専	教授	諸江 哲男 (66) <平成31年4月> 文学修士	諸江 哲男 (66) <平成31年4月> 文学修士	専	教授	諸江 哲男 (67) <平成31年4月> 文学修士	諸江 哲男 (67) <平成31年4月> 文学修士				
		スタディスキル キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC インターンシップ				スタディスキル キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC インターンシップ				スタディスキル キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC インターンシップ					
専	教授	木村 光 (61) <平成31年4月> 修士(芸術)	木村 光 (61) <平成31年4月> 修士(芸術)	専	教授	木村 光 (62) <平成31年4月> 修士(芸術)	木村 光 (62) <平成31年4月> 修士(芸術)	専	教授	木村 光 (63) <平成31年4月> 修士(芸術)	木村 光 (63) <平成31年4月> 修士(芸術)				
		暮らしのスマートデザインⅠ 暮らしのスマートデザインⅡ プレゼンテーション演習 コミュニケーション学 デジタルプロトタイプⅠ デジタルプロトタイプⅡ スマートモビリティ論 ICT研究専門ゼミナールⅠ ICT研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 人間工学と感性 コミュニケーションスケッチ 都市と移動手段のデザイン				暮らしのスマートデザインⅠ 暮らしのスマートデザインⅡ プレゼンテーション演習 コミュニケーション学 デジタルプロトタイプⅠ デジタルプロトタイプⅡ スマートモビリティ論 ICT研究専門ゼミナールⅠ ICT研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 人間工学と感性 コミュニケーションスケッチ 都市と移動手段のデザイン				暮らしのスマートデザインⅠ 暮らしのスマートデザインⅡ プレゼンテーション演習 コミュニケーション学 デジタルプロトタイプⅠ デジタルプロトタイプⅡ スマートモビリティ論 ICT研究専門ゼミナールⅠ ICT研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 人間工学と感性 コミュニケーションスケッチ 都市と移動手段のデザイン					
専	教授	伊藤 庸一郎 (50) <平成31年4月> 博士(工学)	伊藤 庸一郎 (50) <平成31年4月> 博士(工学)	専	教授	伊藤 庸一郎 (51) <平成31年4月> 博士(工学)	伊藤 庸一郎 (51) <平成31年4月> 博士(工学)	専	教授	伊藤 庸一郎 (52) <平成31年4月> 博士(工学)	伊藤 庸一郎 (52) <平成31年4月> 博士(工学)				
		わかりあうスマートデザインⅠ わかりあうスマートデザインⅡ 人間中心デザインⅠ 人間中心デザインⅡ 知能プロダクトプロトタイプⅠ 知能プロダクトプロトタイプⅡ AI研究専門ゼミナールⅠ AI研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				わかりあうスマートデザインⅠ わかりあうスマートデザインⅡ 人間中心デザインⅠ 人間中心デザインⅡ 知能プロダクトプロトタイプⅠ 知能プロダクトプロトタイプⅡ AI研究専門ゼミナールⅠ AI研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				わかりあうスマートデザインⅠ わかりあうスマートデザインⅡ 人間中心デザインⅠ 人間中心デザインⅡ 知能プロダクトプロトタイプⅠ 知能プロダクトプロトタイプⅡ AI研究専門ゼミナールⅠ AI研究専門ゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ					
専	准教授	林 羊歯代 (54) <平成31年4月> 教育学修士	林 羊歯代 (54) <平成31年4月> 教育学修士	専	准教授	林 羊歯代 (55) <平成31年4月> 教育学修士	林 羊歯代 (55) <平成31年4月> 教育学修士	専	准教授	林 羊歯代 (56) <平成31年4月> 教育学修士	林 羊歯代 (56) <平成31年4月> 教育学修士				
		スタディスキル データマイニングⅠ データマイニングⅡ AIデザイン基礎 プランニング演習 マーケティング演習 システムデザイン基礎 スマートモビリティ論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 産業クリエイション基礎				スタディスキル データマイニングⅠ データマイニングⅡ AIデザイン基礎 プランニング演習 マーケティング演習 システムデザイン基礎 スマートモビリティ論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 産業クリエイション基礎				スタディスキル データマイニングⅠ データマイニングⅡ AIデザイン基礎 プランニング演習 マーケティング演習 システムデザイン基礎 スマートモビリティ論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 産業クリエイション基礎					

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・林羊歯代准教授が、平成31年4月教授昇任。

【令和2年度】

・鈴木右子准教授辞任により、上野太輔准教授に変更。

【令和3年度】

・佐々木尚孝教授辞任により、杉山奈生子教授に変更。

【令和4年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
7 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	5	2	0	12	0	6	4	2	0	12	0
(5)	(5)	(2)	(0)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	4	2	0	12	0	6	4	2	0	12	0
[+1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[+1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
教授 70 准教授 68 講師 65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	鈴木 右子	R2.3	必修	マーケティング演習	①	R2.3.31付け、一昨年第2子を出産し、第1子も幼く、子育てに専念するため辞任（2）
				必修	人間中心デザインⅠ	①	
				必修	人間中心デザインⅡ	①	
				選択	ユーザーインターフェイス論	①	
				選択	テラーメードサービスプロトタイピングⅠ	①	
				選択	テラーメードサービスプロトタイピングⅡ	①	
				選択	マーケットプロトタイピングⅠ	①	
				選択	マーケットプロトタイピングⅡ	①	
2	教授	佐々木 尚孝	R3.3	選択	表すスマートデザインⅠ	①	R3.3.31付け、健康上の理由のため辞任（3）
				選択	表すスマートデザインⅡ	①	
				選択	キャラクターデザイン学	①	
				選択	カルチャーメディアプロトタイピングⅠ	①	
				選択	カルチャーメディアプロトタイピングⅡ	①	
				選択	人間機械コミュニケーションプロトタイピングⅠ	①	
				選択	人間機械コミュニケーションプロトタイピングⅡ	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{12} = \boxed{16.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員1名の辞任に対しては、後任として専任教員を速やかに補充することで、科目担当者の不在期間の発生を回避し、担当科目の全てを後任の専任教員が引き継いだため、学生の履修等への影響は無いと考えられる。教員の辞任および後任については、学生向けのガイダンスにて周知した。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<造形学部 スマートデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FDおよびSDを包含する委員会として、UD委員会を設置している。（添付資料参照）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

UD委員会規程に定める通り、UD委員会は以下の委員で構成されている。

- (1) 通学課程各学科教員若干名
- (2) 通信教育部教員 1名
- (3) 大学院研究科教員 1名
- (4) 学長が指名する事務職員 若干名

なお、委員会は毎月1回を定例委員会として開催し、FDまたはSD研修には、全員参加を義務付けている。また、教員の委員とともに、事務職員も教職協働の趣旨から、正式な委員として参加している。

c 委員会の審議事項等

UD委員会規程に定める通り、UD委員会は以下の事項を審議する。

- (1) 教育職員のFD（Faculty Development）に関すること。
- (2) 教職員のSD（Staff Development）に関すること。
- (3) 教育職員と事務職員の連携・協力に関すること。
- (4) 地域社会や産業界、及び学生代表者等の意見聴取に関すること。
- (5) その他のUDに関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 近年の高等教育に関する諸問題に関する研修会
- ・ 大学内の教育研究活動の実践に関する研修会
- ・ 事務職員の職場改善活動の研修会
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

令和2年度の研修会は全てオンラインで実施された。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度は、以下の通り開催した。

10月、11月、12月

なお、研修会に関しては、全員参加を義務付けている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修、授業参観、および授業時の学生による「授業評価アンケート」に対するリフレクションを全員に義務付けるとともに、全員、改善の内容をシラバスに記載し、学生に周知するようにしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の授業終了後に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教務課での閲覧に加え、大学ホームページでも確認できるよう、公開している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「造形学部スマートデザイン学科」の「設置の趣旨」には、以下のように書かれている。
「新学科は、デザイン手法として、本来の人の手や頭による創造を基礎として情報通信技術や人工知能を意識し利用する意味で、総称的な概念である「知能化＝スマート」を取り上げ、さらに、より広く深くユーザーを理解し、潜在的なニーズを発見して創造的且つ新規性を持つ企画・計画・設計・マーケット・メンテナンスをトータルに思考・実施出来る総合的な役割を担う「デザイナー」を育成する意味として、「スマートデザイン学科」とした。
特に、デザイン手法として、本来の人の手や頭による創造を基礎として情報通信技術や人工知能を意識し利用する意味で、総称的な概念である「知能化＝スマート」を取り上げ、さらに、より広く深くユーザーを理解し、潜在的なニーズを発見して創造的且つ新規性を持つ企画・計画・設計・マーケット・メンテナンスをトータルに思考・実施出来る総合的な役割を担う「デザイナー」を育成することを、最も大きな特徴とする。」
上記の目的を実現するために、カリキュラム等を編成し、初年度および令和2年度は入学定員を満たすことができた。しかし、本年度は入学定員充足率が0.58倍と厳しい結果となった。その主な原因は、認知度が必ずしも高くない新しい学科である本学科が、学科の内容を十二分に情報発信すべき時期に、新型コロナウイルスによる活動自粛により広報活動がほとんど実施できなかったことであると考えられる。特に初年度、令和2年度の募集活動の際に重点的に行った高校訪問、進路ガイダンス、体験授業がほとんど行うことができなかった。また、実際にスマートデザイン手法を体験できる場であるオープンキャンパスでも積極的な集客活動ができなかった。令和4年度の募集活動では、高校訪問、進路ガイダンス、体験授業にこれまで以上に注力したいと考える。それに加えて、本学科の授業成果をアピールするため、オープンキャンパスのメニュー刷新、授業展示物の拡充を行う。姉妹校からの入学者大幅減への対策として、高大連携事業の強化、在学生による母校訪問など連携強化と情報交換の緊密化を図ってきたい。
学科の授業運営では1年次のスマートデザイン導入科目に続いて、2年次の専門基礎を学ぶプログラムを設置時の計画の通りに実行した。2年次では1年次で学んだ現状の把握、制作手順の基礎をより発展させ、人間中心デザイン、データマイニングとして実効的で精度の高いものとするべく積み上げ教育を行った。
今後、学年進捗とともに、上記の目的、および「ディプロマポリシー」（スマートデザイン学科では多様化する現代社会について知識を身につけ、情報テクノロジーを含めたトータルなデザインを通して産業・社会・生活をより良きものとする提案ができる知識と能力を身につけることを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（芸術）を授与します。）を具現化するように、定期的に自己点検評価を行い、教育改善のPDCAサイクルをまわしながら、効果ある教育実践に取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 毎年年度末に公表

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開（毎年作成する自己点検評価書を、年度末に公開。）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・ 令和2年度に（公財）日本高等教育評価機構の認証評価（3回目）を受審したため、現時点では、4回目の受審に関する具体的な計画はない。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

UD委員会規程

(設置)

第1条 愛知産業大学学則第1条および愛知産業大学大学院学則第1条に規定する目的を達成するため、教育職員及び事務職員が相互に協力し、連携をとりながら効果的な大学および大学院の運営を行うための教職員の資質・能力の向上を図るUD (University Development) 活動を推進することを目的とし、UD委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(目的)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- (1) 教育職員のFD (Faculty Development) に関すること。
- (2) 教職員のSD (Staff Development) に関すること。
- (3) 教育職員と事務職員の連携・協力に関すること。
- (4) 地域社会や産業界、及び学生代表者等の意見聴取に関すること。
- (5) その他のUDに関すること。

(組織)

第3条 委員は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 通学課程各学科教員若干名
- (2) 通信教育部教員1名
- (3) 大学院研究科教員1名
- (4) 学長が指名する事務職員 若干名

(任期)

第4条 委員の任期は1年とする。

2 委員に欠員が生じたときは、委員を補充し、その任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第5条 委員会に、委員長および副委員長をおく。

2 委員長は、学長が委員の中から指名し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。

3 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(専門部会)

第6条 委員会に、専門的な事項を企画調査するため、必要に応じて専門部会を置くことができる。なお、専門部会には、部会長をおき、学長の承認を得て、委員長が指名する。

2 専門部会に関する事項は、委員会が定める。

(意見の聴取)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、教務課において行う。

(雑則)

第9条 この規程に定めるものの他、委員会の運営に必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年9月1日から施行する。